

製品名: リン酸化 Raf1 (Ser259) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00708

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 73 kDa; Observed MW: 73 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAF1
別名	RAF1; RAF; RAF proto-oncogene serine/threonine-protein kinase; Proto-oncogene c-RAF; cRaf; Raf-1
遺伝子 ID	5894
SwissProt ID	P04049
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

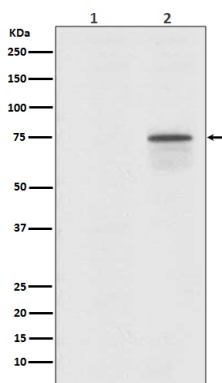
背景

Raf-1 は MAP キナーゼキナーゼキナーゼ (MAP3K) であり、膜結合型 GTPase である Ras ファミリーの下流で機能し、Ras ファミリーに直接結合します。活性化された Raf-1 はリン酸化され、二重特異性タンパク質キナーゼである MEK1 および MEK2 を活性化します。MEK1 および MEK2 は、さらにリン酸化され、セリン/スレオニン特異的タンパク質キナーゼである ERK1 および ERK2 を活性化します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) 293T ライセート中の Phospho-Raf1 (S259)のウェスタンブロット分析、(2) オカダ酸+カリクリン A で処理した 293T ライセートに Phospho-Raf1 (Ser259)抗体を使用して分析。